

## 杉並アニメーションミュージアム第39回企画展 『赤塚不二夫生誕80年！ 赤塚不二夫のアニメ展なのだ』開催！

現在、杉並アニメーションミュージアム(上荻3-29-5 杉並会館3階)にて、ギャグ漫画の天才・赤塚不二夫の生誕80年を記念し、『赤塚不二夫生誕80年！赤塚不二夫のアニメ展なのだ』が開催されています。

懐かしの赤塚不二夫さんの作品を、春休みを利用して親子で楽しんでみてはいかがでしょうか。この企画展は、5月24日(日曜日)まで開かれています。

1935(昭和10)年9月14日、旧満州国に生まれた赤塚不二夫さんは、中学1年生の時に手塚治虫の『ロストワールド』を読んだ事をきっかけに、漫画家を志しました。働きながら漫画の投稿を続け、1956(昭和31)年『嵐をこえて』で念願のプロデビュー。その後、伝説のアパート「トキワ荘」の住人となりました。『おそ松くん』、『ひみつのアッコちゃん』の連載を皮切りに、『天才バカボン』、『もーれつア太郎』を次々と発表。一躍人気作家となりました。そして、今年生誕80年を迎えます。

杉並区内には70社ものアニメ関連会社があることから、杉並アニメーションミュージアムは2005年に設立され、定期的に企画展を開催しています。今回は、誰もが知る最もポピュラーな赤塚さんの4作品、『おそ松くん』、『もーれつア太郎』、『ひみつのアッコちゃん』、『天才バカボン』のアニメを紹介し、現代のアニメファンにはもちろんのこと、1960～70年代にモノクロのアニメ放送に親しんだような世代の方にも足を運んでもらえたらとの思いから、企画されました。

作品ごとにコーナーを設置し、赤塚さんの漫画原稿(複製)と、絵コンテやキャラクター設定、シナリオなど現存する貴重なアニメ資料を展示しています。アニメシアターでは、赤塚さん原作のアニメ作品を上映。(上映スケジュールなどの詳細は、ミュージアムホームページを参照。)別のフロアでは、イヤミ、本官さん、しししのおじさんたちの銅像と一緒に写真撮影ができるコーナーも設置されています。

杉並アニメーションミュージアム運営担当の藤田さんは、「昨今では少なくなったギャグアニメを気軽に楽しみ、親子の触れ合いの場にしてもらえたら嬉しいです。」と話していました。

### 赤塚不二夫生誕80年！ 赤塚不二夫のアニメ展なのだ

開催期間：2015年1月28日(水)～5月24日(日)

場 所：杉並アニメーションミュージアム

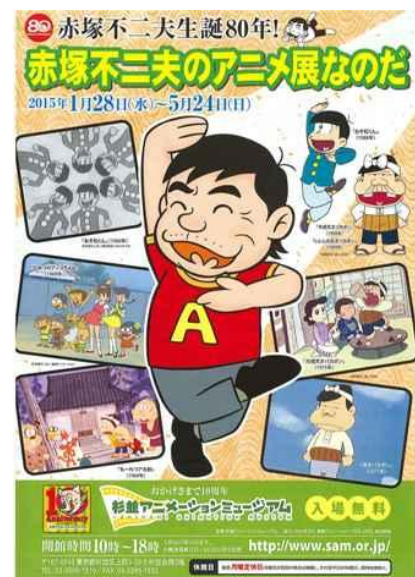
〒167-0043 杉並区上荻3-29-5 杉並会館3階

開館時間：10:00～18:00

[入館は17:30まで。企画展最終日(5月24日)は16:00で閉館]

休 館 日：毎週月曜日(月曜が祝祭日の場合は開館し、翌平日休館)、臨時休館有

入 館 料：無料(シアターを含めて無料)



- ◎赤塚不二夫/毎日放送・スタジオゼロ
- ◎赤塚不二夫/東映アニメーション
- ◎赤塚不二夫/TMS
- ◎赤塚不二夫/ぴえろ

【問合せ先】

杉並アニメーションミュージアム事務局 電話 3396-1510